

# NPO法人化 地域をまるごと

川西町吉島



福祉部会 高齢者の世代交流や生涯学習(よじま燦燦塾)

## 地区の全世帯が

## NPOの構成員

川西町吉島(よじま)地区では、平成16年度から話し合いを重ね、平成19年9月に地区の752世帯全部が加入するNPO法人「きらりよじまネットワーク」を設立した。

「きらりよじまネットワーク」は4つの部会から構成され、会員(各世帯)は、必ずいずれかの部会に所属している。福祉部会では、高齢者と子どもの世代間交流活動を実施。教育部会では、子どもたちを公民館から小学校に通わせる2泊3日の通学学習を実施するなど、各部会で活動を行っている。

そして、次世代を担う若手リーダーを育成するため、活動全体をまとめる事務局には、地域づくりに興味を持った若者を積極的に登用している。

設立から4年。最近では、会議や研修会への参加者も増加しており、地域づくりに対する意識も高まっている。



教育部会  
公民館から小学校に通う2泊3日の通学合宿

  
**きらり**  
よじまネットワーク  
**NPO法人**  
**きらりよじまネットワーク**  
 (正会員：吉島地区の全世帯 + α)  
 自治部会   環境衛生部会  
 福祉部会   教育部会

# 特集 地域力



なりやす さんさんみどり  
山形市 成安いきいき燦々水土里の会

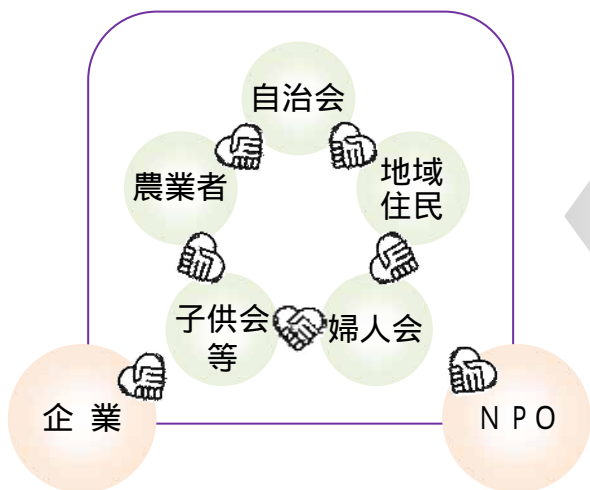
## 手と手をつなぐ 地域コミュニティ

農山漁村の暮らしの基盤の強化が課題となっているなかで、自治会や農業生産組織などのこれまでの枠組みを活かしつつ、それを発展させる新たなコミュニティづくりが始まっている。

ポイントの一つは、「なか」の連携。自治会や子ども会、婦人会、消防団など地域の活動団体が手を取り合い、一緒に地域の景観づくりや環境活動を行う取り組みが広がっている。山形県内の集落の半分以上でこのような組織の活動が行われている。

もう一つのポイントは、「そと」との連携。地域の困ったことや不足しているところを多様な人材や、NPO、企業などの手助けを得て地域をつまく回していく仕組みづくりも求められている。

### 手と手をつなぐ 地域コミュニティの発展形



### 地域コミュニティ

